

第5回 倉敷市立児島市民病院経営健全化検討委員会 議事録

日 時：平成22年3月23日（火） 14：00～15：45

場 所：児島市民病院第2診療棟2階会議室

委 員：鳥越委員長，三浦副委員長，板野委員，清水委員，高田委員，蓮岡委員，藤原委員，
三村委員

【欠席】中島委員，松浦委員，三宅委員，森田委員

事 務 局：三宅副市長，田口局長，江田院長，佐藤参事，佐藤看護部長，安田次長，
武部課長主幹，布施主幹，川崎主事

傍 聴 者：2名

配付資料：第5回倉敷市立児島市民病院経営健全化検討委員会レジュメ

パブリックコメントで寄せられた御意見と，それに対する市の考え方及び対応
倉敷市立児島市民病院改革プラン（案）

議事内容：

1 開 会

【事務局】 委員12名のうち8名の出席であり，過半数を超えているため，会議が成立していることを報告。

2 議 事

(1) パブリックコメントで寄せられた意見及び市の考え方等について

【事務局】 （パブリックコメントで寄せられた御意見と，それに対する市の考え方及び対応を説明。）

【委員長】 1項目目については，意見を受けてプランを修正したのか。

【事務局】 この項目については修正していない。

【委員長】 検討委員会としては，市民から寄せられた意見と市の考えの両方を考慮し，プランを修正する必要がある。

【委員長】 市の対応はホームページに掲載しているのか。

【事務局】 掲載しています。

【委員長】 それに対する反応はあるのか。

【事務局】 現時点ではありません。

【委員長】 国レベルの原因と固有の原因は分けて考えるべきであり、プランに国レベルの対策を盛り込むのは手が届かないと思う。

【委員】 医療崩壊は小泉構造改革が大きい原因だといわれるが、プランに盛り込むのは大乘で包括的すぎる。そうしたことを市のプランに盛り込むのは適切ではないと思う。

【委員長】 大病院であれ小病院であれ、国の政策に影響を受けていることは確かだが、政治は政治で直してもらい、そうした認識に立ったうえで、個別の問題をどう考えるかだと思う。

【委員長】 2項目目について、市の考えとしては不当ではないとのことだが、委員の皆さんはどう考えられますか。

【委員】 大学病院側としては市の対応が一方的だったということがあると思う。市・病院の立場もあるので、結果的にはこういった表現になると思う。

【委員】 違法ではないと思うが、「不当」は的外れという意味になる。不当ではないと言い切ってしまうと、大学側と積み上げた信頼関係に影響があるのではないか。

【委員長】 適切でなかったという反省を踏まえて、プランの内容を検討していると思うが。

【委員】 この意見を書かれた方は、経緯をよくご存知だと思う。一般の市民の方はそこまで知らないと思う。少数意見ではないか。

【委員】 市と病院側がしっかりと意見交換をするということがプランに盛り込まれており、原因は原因としても、方向性としては良いのではないかと思う。

【委員長】 情報交換が緊密に行えていなかったということが原因だったと思う。

【委員】 市民の方の理解はどのような状況ですか。

【委員】 個人的には円満に解決すべきだと言ってきた。文言は解釈の仕方で変わるので、このあたりで良いのではないか。

【事務局】 大学側としては意思疎通の齟齬ではなく、全く相談せず一方的に人事を行ったものと認識していると聞いている。

【委員】 不当性はあったと思う。あまりはぐらかしてしまうのは良くない。もう少し書きようがあると思う。

【委員】 今ここで議論しているのは、本文をどう直すかであり、市の考えをどうする

かではない。

【委員長】 検討委員会としては、寄せられた意見と市の意見の両方を参考にしながらどう書くかである。不当かどうかは判定しにくい。意思疎通が不十分であり、適切な人事が行われていなかった、ということだと思う。

その具体的な対策として、市長を含めて意見交換ができる場を設けることとしている。

【事務局】 経営形態見直しの方向性の中で、「経営方針や問題点の共有を行うとともに意思決定の迅速化を図るため、市長をトップとした経営会議の設置が必要です。」と記述している。

【委員長】 その原因の一端を書いておく必要がある。

【委員】 医師の退職の理由をもう少し書く方が良い。

【委員】 意思疎通が不十分であったために医師の退職につながったので、そうしたことを用心するように書くべき。

【委員】 市の考え方と検討委員会の考え方が整合性が保たれないことを懸念している。問題が大きかっただけに、市の考えを変えられるものならば変えた方が良いと思う。

【委員】 検討委員会としては、市民から寄せられた意見を反映し充実させたという考え方のほうが建設的で良いのではないか。

【委員】 市としても真意と異なってるならば修正しても良いのではないか。

【事務局】 大学へも誤解を与える恐れがある。

【委員長】 市の考えについては検討委員会に関知しない。

【事務局】 真意が伝わらず誤解を招く恐れがあるため、修正する方向で検討する。

【委員長】 基本理念・基本方針はすでに決まっているものがあるのか。

【事務局】 昭和48年当時からある。これは根幹であるので、市長を含めて関係者と病院の意見をすり合わせて決定する必要がある。

【委員長】 「一定の方向性」の文言についてはどう考えるか。

【委員】 よく使う言葉ではあるが、確かに分かりにくい言葉だと思う。「新たな方向性」とかでも良いのではないか。

【事務局】 「一定の方向性」というのは確かに分かりにくい表現だと思うが、前段に掲げている経営形態の選択肢を指しているものとなっている。

【委員】 選択肢を指し示して具体的に書けば良いのではないかと。

【事務局】 「一定の」を削除しても意味は変わらないので、それを削除します。

【委員長】 どの選択肢も対象だというニュアンスが伝われば良いと思う。

【委員】 同様の表現をしている施設整備についても修正すべき。

【委員】 「施設整備について検討します」が良いのではないかと。

【委員長】 経営形態・施設整備の「一定の」は削除する。

【委員長】 パブコメの全体を通して、何か意見はありますか。

【委員長】 委員の意見も盛り込まれており、パブコメで寄せられた意見についても概ね盛り込まれているので、この内容でまとめる。

(2) 倉敷市立児島市民病院改革プラン（案）の確定について

【事務局】 ボリュームが大きいので説明は割愛させていただくが、他に盛り込むものがないければ、この内容で確定したい。

【委員】 内容については特に意見は無いが、色分けの意味はあるのか。

【事務局】 修正した箇所を色分けしており、例えば、第2回検討委員会のご意見を受けて修正した箇所は赤で、第3回は青としている。確定分は黒一色とする予定。

【委員】 8ページの院内に設置している委員会の中で、ICT委員会、NST委員会については市民の方は分からないので説明が必要。

【事務局】 ICT委員会は感染制御チーム委員会、NST委員会は栄養管理チーム委員会に修正する。また、倫理委員会も先日設置したので、それも加える。

【委員長】 市長をトップとする経営会議については、何か良い名称はないか。仮称でもいいので具体的な名前を入れた方が良い。

ここは今回のプランの大きなポイントである。

【事務局】 他都市の状況も調査し、存在感のある名称を検討する。

【委員長】 今回の検討委員会でいただいた意見を踏まえて修正を加え確定したい。

修正した素案の承認については、前回同様に委員長に一任していただきたい。

【委員】 意義なし。

(3) 答申について

【事務局】 答申日は3月31日を予定しており、委員長・副委員長にご出席いただきたいと考えている。委員の皆様には後日郵送させていただく。

【委員長】 最終の改革プランをご覧になって、ご異議がある場合は事務局に早めに連絡

してください。

(4) その他（閉会挨拶）

【委員長】 5回にわたり、難しい問題を皆さんの英知を集めていただいて、何とか一つの方向を見出すことができた。

パブリックコメントも推敲できたし、この改革プランが本当に実行されるように、また、市民の皆様から信頼されるように、そういう病院に生まれ変われるように期待して、皆さんの貴重な意見をいただいたことに感謝を申し上げます。ありがとうございました。

【事務局】 委員の皆様方におかれましては、大変ご多忙の中、昨年12月から本日まで計5回にわたり、熱心なご審議を賜りまして誠にありがとうございました。

ご存知のとおり、当院は、一時は存続が危ぶまれるほどの経営危機に陥りましたが、岡山大学を始め、医師会や地域の皆様のご支援・ご協力をいただいて、昨年4月より再建の一步を踏み出すことができました。

更なる経営回復・経営安定化が課題でございますが、この度おまとめいただいた改革プランにより、今後進むべき方向が明確になるものと考えております。

この検討委員会は、本日をもって終了となりますが、委員の皆様方には、今後とも、本市保健福祉行政につきまして、ご指導、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

最後に改めまして、皆様方のご尽力に対しまして厚くお礼を申し上げます。

本当にありがとうございました。

3 閉 会